

なぜ健康伝道(医事伝道含む)なのか。

ここにいる皆さんは、キリストの再臨を心待ちにしておられると思います。キリストに会うための準備はしておられますか？

1. 私たちの手本であるキリストと健康伝道の目的。

皆さんもご存知のように、キリストの伝道は必ずと言っていいほど、病気やあらゆるわずらいを癒されています。

マタイ4：23「イエスはガリラヤの全地を巡り歩いて、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病気、あらゆるわずらいをおいやしになった。」

ミニストリーオブヒーリングの19ページには、

「彼の伝道生涯においては、説教よりも、病人を癒すために多くの時間がついやされた」と書かれています。さらに、「救い主はいやしの働きをなさるたびに、それを人々と頭と心に神の原則を植え付ける機会となさった。このことに彼の働きの目的があった。彼が世的な祝福をお与えになったのも、人々の心に、その恵みの福音を受けやすくさせるためであった。」

イエスが70名を伝道に出された時も、癒しが伴いました。「そして、その町にいる病人をいやしてやり、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。」(ルカ10：9)。また、ルカ9：1-2でも「それからイエスは十二弟子を呼び集めて、彼らにすべての悪霊を制し、病気をいやす力と権威とお授けになった。また神の国を宣べ伝え、かつ病気をなおすためにつかわして」と書かれています。ペンテコステの後、使徒たちはさらに力を受けて、病気を癒しました。

ということで、EGホワイトは、メディカルミニストリーで、

「右手は体が見つけた入り口の扉を開く。これが医事伝道の働きがすべき役割である。この働きが現代の真理を受け入れる大いなる備えをする。」(Medical Ministry p.238)とっています。つまり、福音伝道の右腕というわけです。また、以下のホワイト婦人からの第3天使のメッセージについてのクオテーションとして、項目3に書いていますので、お時間のある時にお読みください。

やがて、牧師たちは、健康伝道しかできない時がくる、とEGWは預言しています。そのために私たちは、医療伝道を含む健康伝道を今学ぶ必要があります。

「すべての教会員が医事伝道の働きをする時が来た」(7Testimonys p.62)

「キリストはもはやこの世にはおらず、町々、村々を歩き、病人を癒やされないが、我々に彼がおはじめになった医事伝道を引き継ぐようにお命じになった。」(9Testimonies p.168)

ミニストリーオブヒーリングでは、すべての教会が地域のヘルスセンターになることを勧めています(MH p.134-135)。

2. 食欲に関する聖書の例。

日々の生活の中で、私たちの一番弱い部分は、食欲の節制だと思います。聖書や証のふみからの詳しい引用は時間の関係で割愛させていただきますが、罪が人類世界に入ったのは、この節制がなかったからです。どこかに書かれていました。聖書からの話を思い起こしてください。

アダムとエバが失敗したのは、食欲に負けたからでした。空腹でもないのに食べてしまいました。食べたいという欲望に負けました。また、エサウも食べ物で失敗しました。それから出エジプトで、荒野にいた民は肉食で失敗しました。ダニエルも、最初の試練は食べ物でした。イエスはバプテスマを受けられた後、試練がありましたが、サタンはイエスの空腹を利用してパンを用いてイエスを試しました。しかしイエスは成功されました。

サタンは人間の食欲を利用し、罪にいざなうのです。彼は人間の食欲に対する節制が欠けていることをよく研究しています。健康の原則が与えられたことは感謝です。

3. 現代の真理と健康伝道

現代の真理の預言を学ぶと健康伝道の必要性がもっと理解できるでしょう（項目1. に書いていますが、メディカルミニストリーp.238）。なぜなら、天に入るためには、私たちには完全が求められているからです。キリストはマタイ5：48で、「**それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。**」とされています。これは決して不可能なことではありません。だから健康伝道なのです。

4. いくつかのEGホワイトからのクオテーションをご紹介します。

～健康改革の理由～

■ 神の栄光のために

「神と人々に対する我々の第一の義務は、自分の能力の及ぶ限り多くの社会に役立つために、創造主が我々に授けてくださった各能力を最高度の完全さに育成することである。ゆえに心身の健康の維持増進のために費やされる時間は有益である。我々は、心身のいずれの機能でも弱めたり、不具にしたりする余裕はない。もしそうするならば、必ずその結果に苦しまなければならないのである。」（C.H.107-108,1890年）。

■ 生か死かの選択

「人が能力を使用しないために錆び付かせてしまったり、あるいは悪習慣や自制心の欠如、道徳的な力や、宗教的な力の欠乏のために能力を悪用したりすることがある。すると、このような人の進路は下り坂となり、その人は神の律法にも、にも健康の法則にも不従順となる。食欲は彼に勝利し、自分の性癖や気分を翻弄されてしまう。常に活動的な悪の力に抵抗して前進するよりも、これに負けて後退する方が楽なのである。そうすると、放蕩、病氣、死が相次いで生じる。これが、神と人類のために役立つ者であった多くの人々の歴史である。（C.H.107-108,1890年）

■ 完全さを求めて

「体は神の所有物であって、創造と贖罪によって神に属するものである。我々のどんな能力でも誤用するならば、当然神に捧げるはずの榮譽を神から奪うことになる。」（Letter73、1896年）

■ 無知に対する刑罰

「神は我々の身体を支配する法則をお作りになったのであるが、我々の身体の内には神が置かれたこれらの法則は神聖なものであって、この法則に対する違反の一つ一つに刑罰が付随しており、我々は遅かれ早かれ、これを認識しなければならない。」（Health Reformer,October,1866年）

■ 健康改革の大目的

「健康改革の大目的は、知性と魂と体を可能な限り最高に発育させることであるということをお忘れはならない。神の律法であるすべての自然の法則は、我々の益のために計画されたのである。これに従うことは、現世での幸福を増進し、来世への準備をするのに助けとなる。」
(CTBH、120、1890年)

■ 健康の原則の重要性

「再臨使命の初期において我々に与えられた原則は、その当時と同じく重要であって、良心的にこれに従わなければならない。・・・バプテスマによってキリストと結合したのであるが我々を墮落させ、悪しき状態にするあらゆる事物から離れることによって自らの役を果たすならば、成長して、我々の生きた頭であるキリストに達する力が与えられ、神の救いを見るであろう。」
(9T、158-160、1909年)

～食事と霊性～

■ 勝利の生活との関係

「飲食、衣服の全てが我々の霊的な進歩に直接関係する。」 (Y I、May31、1894年)
「我々が食欲をほしいままにして健康を害したり、世的な誇りが支配的であったりする間は、神の霊が我々を助けに来て、クリスチャンの品性を完成させてくださることはできない。」
(Health Reformer、September1871年)
「神の生活にあずかる者は皆、世にある欲のために滅びることを免れる。食欲に溺れる人が、クリスチャンの完全さに到達することは不可能である。」 (2T400、1870年)
「我々の飲食についての習慣は、我々が世のものであるか、または主が真理の強い刃物で切り離れた人々の中に属するかを現す。」 (6T372、1900年)
「神が与えてくださった健康改革の光を大切にする人は、真理によって清められ、不死の生命を受ける準備の働きで重要な助けを得るのである。」 (C H、22、1890年)

■ 食事と道德の関係

「洪水前に生存した人々は動物性食品を食し、彼らの悪の杯が満ちるまで肉欲を満足させたので、神は洪水をもって地球をその道德的な汚れから清められたのであった。」 (Sp Gift. IV、121、1864年)
「ノアの時代、神の怒りを世界にもたらした罪悪と同様の罪悪が、我々の時代にも存在している。今日男女は飲食を過度に行って暴食し酩酊する。誤った食欲をほしいままにするこの一般の罪が、ノアの時代に人々の情欲を燃えさせ、社会全体を墮落に導き、ついに彼らの暴虐と犯罪が天に達するほどになったので、神はこの世界を洪水によって道德的汚れから清められたのである。」 (3T163-164、1873年)

～健康改革と第三天使の使命～

■ 一つの民を準備するため。

「男女が誤った食欲と肉欲的な情欲に溺れて自然の法則を犯しながら、神の律法を犯さないということはあり得ない。したがって、神は健康改革の光を我々に与えてくださった。」 (食事と食物に関する勧告、p.63)

■ 清められるか罰せられるか

「使徒パウロは教会にすすめて、「兄弟たちよ、そういうわけで、神の哀れみによってあなた方に勧める。あなた方の体を、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物として捧げなさい。それがあ

なた方のなすべき靈的な礼拝である」と言っている。ゆえに人は、罪に満ちた不節制によって自分たちの身体を汚れたものになし得るのであって、もしも汚れていれば、靈的な礼拝者となるのに不適當であり、天国に入る価値がないのである。神が憐れみを持って健康改革の上に与えてくださった光を大切にすれば、人は真理によって清められ、不死に適する者とされるのであるが、もしその光を無視し、自然の法則を犯して生活すれば、罰を受けなければならない。」(3T 161-162、1873年)

■ 牧師と信徒が一致して行動すべきこと

「伝道の働きの中で重要な部門の一つは、健康改革を第3天使の使命に関連づけるものとして、また同じ働きの重要部分として人々に忠実に勤めることである。彼らは必ず自分たちでこれを実行し、真理を信じると公言するすべての人々に、これを熱心に勤めるべきである。」(1T469-470)

「健康改革は第3天使の使命の一部であって、腕や手が人体と繋がっているように密接に連結していることを私は示された。一つの団体として我々はこの大事業において前進しなければならないことを私は悟った。牧師と民が一致して行動しなければならない。神の民は第3天使の大いなる叫びの用意ができていない。彼らには自分たちでしなければならない働きがあり、それを自分たちの代わりに神にしてもらうように待ってはならない。神は、彼らにさせるために、この働きを残しておかれたのである。それは個々人の働きであって、誰かが他の人のためにしてやることはできない。(1T486、1867年)

「健康改革の方面で行うべき働きを遅らせてはならないことを、私は指示された。この働きを通して、我々は、社会の種々な階級の魂に触れなければならぬ。」(Letter203、1905年)

「医事伝道の働きは、病に冒された魂に我々が触れるために先に入っていく大きな楔となることを、私は神の摂理の中に見ることができる。」[Tract] (CH.535,1893年)

「健康改革の働きは、我々の世にある苦難を減らし、神の教会を純潔にするための神の手段である。肉体と靈の健康を回復する仕事において、働きの主である神と協力するならば、彼らは神の助手として行動できるのだということを人々に教えなさい。この働きは天の署名を受けており、他の貴重な真理が浸透していくための門戸を開くのである。この働きをよく理解して始めるすべての者には働き場がある。」(9T112-113、1909年)

※[Medical Ministry. Section2, “The Divine Plan in Medical Missionary Work”, and Section 13, “Medical Missionary Work and the Gospel Ministry” を参照]